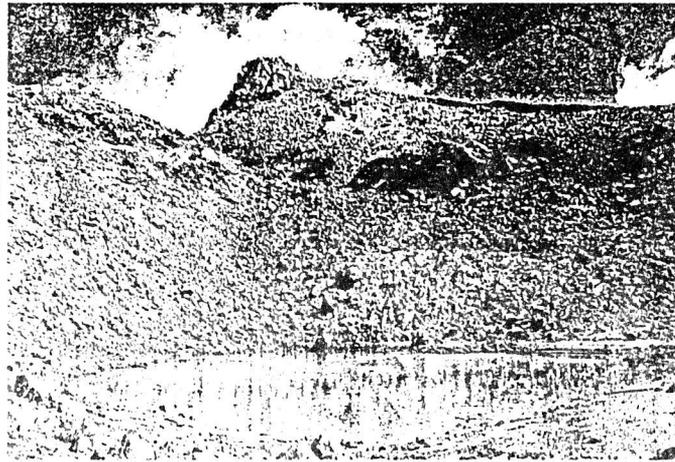


# 白山に異変 伝説の千蛇ヶ池でも

## 万年雪消えた



一面雪に覆われた昨年10月上旬の千蛇ヶ池



万年雪が解け、水面が現れた3日の千蛇ヶ池  
(写真はいずれも稲森喜八郎さん提供)

### 少雪、夏の長雨原因か

白山で唯一、年間を通して雪が解けない「多年性雪洞」として知られる千蛇ヶ池の万年雪が五日までに、ほぼ跡形もなく消えているのが右川県内の登山愛好家らによって確認された。越前の高嶺が千匹の毒蛇を封じ込めて以来、厚い雪の層に覆われ続けているとの伝説が残る同池が水面全体を人目にさらすのは極めて珍しいとされる。県白山自然保護センターは今冬の記録的な少雪と夏の長雨が原因とみており、納まる気配がない露峰の異変に目を凝らしている。

#### 県内の登山愛好家ら確認

白山自然保護センターに、いよ、深くは地のため八よると、池は山の斜面の影月でも十センチを越える積雪がなくなっている。目当たりが悪く、観測される年もあり、水面が一部でも現れることはほとんどない。ところが今年には五日までにはほぼ完全に雪が消え去り、エメラルドグリーン

水面を静かにたたえる様が複数の登山愛好家らによって確認されている。気象協会北陸センターによると、今夏の白山は当初の水不足の心配とは裏腹に、七、八月を通じて一昨年のほぼ

千蛇ヶ池(標高約二六〇〇m。發老元(七二七)年に白山を開山したと伝えられる越前の僧善達(たいちちよう)大師が、登山者に危害を加えていた千匹の毒蛇を諭して池の中に封じ込めたとの伝説で知られる。以来激しい雪が降り続き、夏でも解けることのない万年雪が水面に蓋をする形で覆い、万年雪が解けた場合、蛇が出てくるのを防ぐため池を見下ろすようにそびえる溶岩の塊「御宝庫(おたからこ)」が崩れ落ちると伝えられる。

二倍に相当する降水量を記録しており、白山自然保護センターでは少ない残雪が長雨で解けたとみている。

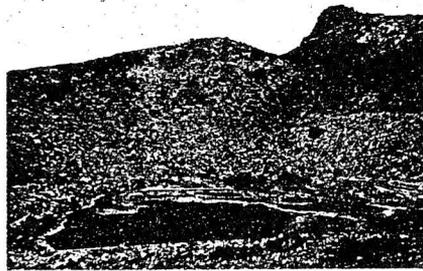
十月三日に百七回目の白山登山を終えた川北町橋、稲森喜八郎さん(左)は「千蛇ヶ池の水面がこれまで現れたのを目にしたのは初めてだ。御宝庫が崩れ落ちないか心配だ」と話している。



# 千蛇ヶ池の中は氷の峡谷



千蛇ヶ池内に大量に残る雪氷を調査する伊藤技官。白山千蛇ヶ池



万年雪が解けた白山・千蛇ヶ池の全景  
=10月12日(金沢市常盤町の荒木哲男さん提供)

## 白山

白山の「多年性雪蓋」として知られ、三十五年ぶりに万年雪が消滅した白山千蛇ヶ池の中や周辺の岩の下には大量の雪氷が実在していることが、加賀市の中谷孝一郎雪の科学館 神田健三館長と福井大の伊藤文雄技官の三十一日までの調査で確認された。岩の下に氷が存在することはこれまでの研究でも予測されていたが、実際に確認されたのは今回が初めて。池の中に作られた氷の峡谷は全国的にも事例がなく、長く雪に閉ざされていた。氷が取り除かれ、千蛇ヶ池の素顔が明らかになった。

## 岩石の下にも大量の雪氷

### 雪の科学 館長ら確認 全国で報告例なし

神田健三館長と伊藤文雄 雪が消えたことを知り、岩を調査に訪れた。技官の二人は十月六日付の石の下と池の中の様子を確北國新聞で千蛇ヶ池の万年雪を認するため二十五日、同池

分析で過去の情報も成瀬謙二北大低温科学研究所助教 雪氷が小さく、雪氷が溶け残ったままの状態が保たれているということも予測されるが、どういふ状況でそうなるのか興味深いし、その水をサンプルして分析すれば、過去の情報が得られるかもしれない。

調査によると、池の直径は約四十メートル、水深は深いところでは約九メートル、その大部分が氷で覆われ、所々が空いたような形になっていた。神田館長によると、表面の穴は水の対流によってできた可能性が大きく、池の内部は氷の厚い部分と薄い部分に分かれていた。水の色の変化もさまざまだった。内部は氷の峡谷のようになっている。

また、池の水際部分は右で覆われていたが、すぐそばの土砂の下に、約七十センチほどの高さで水平にえぐられた氷の層が見つかった。このほか、池の中の土砂の下にも氷があることが分かった。神田館長によると、池周辺では土砂と氷が何層にもわたって積み重なっている可能性があり、池の生い立ちを知る上でも興味深いとしている。

< お詫び >

ワインシュタイン氏の世紀の大論文に関しまして、編集子の手違い、並びに無学により、最後の1ページを抜かして9号に掲載してしまいました。ここに深くお詫び申し上げます。

どこからも「これでは論文が完結していない

のでは？」のお問い合わせはございませんでした。ワッゲル関係者から、しかるべき賞への推薦はやや望み薄かとも思われますが、大発見の論文が、机の奥隅に忘れさられた不遇の天才達の逸話は数知れず。これにて完結致しますので、どうかご高覧のほど、お願い申し上げます。

Weight of Super String

$$m = h/c^3 = 10^{-43} \text{ g}$$

m: mass of super string

Weight of original universe

$$M = \sqrt{hc/G} = 2 \times 10^{55} \text{ g}$$

M: mass of original universe

Number of super strings in original universe are  $M/m$ .

$$M/m = 2 \times 10^{43}$$

Energy of original universe is

$$E = Mc^2 = 1.8 \times 10^{66} \text{ g} \cdot \text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-2}$$

Temperature of original universe is

$$T = EN/R = 4.3 \times 10^{91} \text{ K}$$

N; Weinstein constant  $2 \times 10^{43} \text{ mol}^{-1}$

R: Gas constant  $8.3 \times 10^7 \text{ g} \cdot \text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-2} \cdot \text{K}^{-1} \cdot \text{mol}^{-1}$

cf

Einstein's energy equation,  $E=mc^2$ , was induced approximately from principle of relativity. I, Weinstein obtained easily this equation from Minkowski formula and dimensional constitution.

$x^2 + y^2 + z^2 = ct^2$  ..... Minkowski formula

$$ct^2 = [L^2] \text{ ..... (A)}$$

$$E = [ML^2t^{-2}] \text{ ..... (B)}$$

substitute (A) to (B), that is  $E=mc^2$

Length of Super String

$$l_p = \sqrt{h \cdot G/c^3} = 10^{-33} \text{ cm}$$

h: Planck constant  $10^{-27} \text{ g} \cdot \text{cm}^2 \cdot \text{s}^{-1}$

G: gravity constant  $6.7 \times 10^{-8} \text{ cm}^3 \text{ g}^{-1} \text{ s}^{-2}$

c: velocity of light  $3 \times 10^{10} \text{ cm} \cdot \text{s}^{-1}$

# 更生れ！ 封建帝国

自称0期 田村 昭夫

明治初期の日本は、外国人にとって桃源郷に見えたらしい。

山紫水明のこの邦は、平野も山地も美しい水田が広がり、人々は勤勉に働き、貧しいながらも平和に暮らしていた。

西欧の科学文明が、このやさしい穏やかな国を荒々しく破壊してしまった。ラフカディオ・ハーンの愛した日本は、またたく間に醜く変わってしまった。

その責任は、西欧の科学技術にあるのではなく、それを国策として取り入れた我国にある。科学とは、自然の謎を解くことであり、技術とは、人間の欲望達成の手段である。私達は、効率と利便さばかり追求した結果、平和で美しい国を、かくも醜悪で危険な国にした。

戦後この国は、商工農士の逆封建制になり、士は社会から葬り去られ、代わって商が猛威を奮って、この国を墮落させた。

今や金銭支配による日本は自滅したのだから、新しい社会制度の構築が急がれる。それには、士農工商の封建社会に戻るのがよからう。

士は、志の高い少数の指導者であって、断じて政治家、役人ではない。そして農業就労人口をもっと増やし、非生産的不労所得階層である保険・金融・証券の商業人口を激減さす。

楽して設けることしか考えない効率優先の社会から、勤労を喜びとする社会に戻すこと。そうすれば、桃源郷が再びこの国に甦るだろう。景気など回復しなくてよい。

<年金制度>厚生年金や共済年金を廃止して、国民基礎年金一本建にすべし。一人の生活費として、月3万円もあれば充分である。

<土地>土地そのものの資産価値はゼロである。土地を如何に利用し、生産性を上げるかで不動

産の資産価値が決まる。従って土地は全て、公有にすべきものである。

日本のエライ経済学者達は、こんな簡単なこともわからない。

この狭い日本は資源に満ち溢れている。戦後五十年、外国から輸入された原料の九十%が国内にゴミとして蓄積されている。これを再利用しない法はない。太平洋戦争では四年間も資源なしで世界を相手に闘ったのだ

我が国が輸出できるのは人材だけである。競争社会で揉まれた日本人は世界中何処



から少なくともこれから百年間は外国からの輸入なしでやって行ける。日本人は国内に居る限りその能力を発揮できない。この国では位人臣を極めた人間は凡人の代表格ばかり。小淵総理や宮沢大蔵大臣を見ればわかる。古来真の人材は常に草莽にあり。我が国が豊かだったのは縄文中期だったと云う。その時の人口は多く見積もっても五十万人。現在の一億二千万人の人間を百年程かけて外国に輸出すれば残った五十万人は

1998.8.5 読者日報

## 鎖国のすすめ

田村昭夫(61)

でも有能な人材たり得る。日本人は国内に居る限りその能力を発揮できない。この国では位人臣を極めた人間は凡人の代表格ばかり。小淵総理や宮沢大蔵大臣を見ればわかる。古来真の人材は常に草莽にあり。我が国が豊かだったのは縄文中期だったと云う。その時の人口は多く見積もっても五十万人。現在の一億二千万人の人間を百年程かけて外国に輸出すれば残った五十万人は

嘗ての様な幸福な日々が約束されよう。その時、東京は巨大なゴーストタウンになっているだろう。今巷で取り沙汰されている景気回復など論外である。縄文時代の様な豊かな社会になる為には我が国の経済が完全に破綻することが最も近道と思うが、如何に。

東工大・本川達雄教授の説。人間の大きさの動物の生息密度は一平方メートルあたり一・四匹。

# 会津から初代大統領を

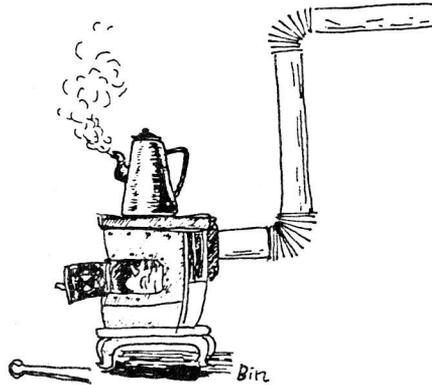
1998.7.23  
会津日報

田村 昭夫 (61)



桶本内閣は火だるまになって消え去った。「行政改革を火だるまになってやる。」と国民に宣言した手前、改革が出来なかったのだから国民は総理を焼き殺した訳である。かくなる上は速かに国民投票で大統領を選出すべし。吾こそは大統領となつて国難に当らんとするものは名乗り出よ。大統領になるには政治の下衆人が良いと思う。そして通訳なしで外国首脳と討論や談笑の出来る人間であること。さらに国民の為なら命もいらぬと覚悟した人間であること。強力な指導力を持った真のエリートが国民は求めている。薩長の作つたこの国はいまや断末魔の状態にある。戊辰百三十年。歴史は形を変えて繰返す。会津から大統領を出し、国と地元会津の改革を同時進行で行う。識者達が今までに書いたり述べたりしたものや参考にして、改革プログラムを作成し、勇気をもって行動を起こす時である。時は熟せり。但し、ただ制度を弄くるだけでは駄目である。皆の意識の改革こそが重要なのだ。大統領候補者として私は名乗りあげる。皆さんも名乗り出て欲しい。

し。吾こそは大統領となつて国難に当らんとするものは名乗り出よ。大統領になるには政治の下衆人が良いと思う。そして通訳なしで外国首脳と討論や談笑の出来る人間であること。さらに国民の為なら命もいらぬと覚悟した人間であること。強力な指導力を持った真のエリートが国民は求めている。薩長の作つたこの国はいまや断末魔の状態にある。戊辰百三十年。歴史は形を変えて繰返す。会津から大統領を出し、国と地元会津の改革を同時進行で行う。識者達が今までに書いたり述べたりしたものや参考にして、改革プログラムを作成し、勇気をもって行動を起こす時である。時は熟せり。但し、ただ制度を弄くるだけでは駄目である。皆の意識の改革こそが重要なのだ。大統領候補者として私は名乗りあげる。皆さんも名乗り出て欲しい。



「きけ、わだつみのこえ」  
俺達が戦争で死んだのは何の為だったか。断じて貴様達にこんな墜落した日本を作らず為に死んだのではない。これではあまりにも俺達が惨めた。貴様達は戦後十年間は良くやった。しかし昭和三十年から今までやってきたことは一体全体なんだ。貴様達のやったことはコンクリートで道やビルを造り、排気ガスを撒き散らしたことでだけではないか。もっと分相応な生き方が出来なかったのか。今そのツケが回ってきて



た。貴様達が滅びるのは勝手だ。しかし何の罪もない動植物を道づれにすることは許せない。戦後生き残った五

## 日本戦没学生の手記 長谷川 信

1998.8.15 会津日報  
会津若松市相生町 田村 昭夫(61)

長谷川信(享年23才)  
昭和二十年四月十二日、武陽特別攻撃隊員として与那国島北方洋上戦死、会津若松市上町一―四出身

ぶち壊し、自動車を一掃してから死ね！ そして「政治屋」「木っ端役人」「土建屋」「金貸し」は地獄に落ちろ！ 俺達わだつみは貴様等人間のクズを徹底的にイジメてやる。「弱きもの、哀れなるもの、汝の名は人類、墜落した狼」

\* \*  
俺は結局瓜々と生き、瓜々と死ぬことだろう。だがたった一つ出来る。涙を流して祈る事だ。それが国泰か、親安か知られない。祈ることなのだ。(猪苗代湖十六橋 長谷川信碑より)



太平洋戦争の末期と現在の日本は全く同じである。自らが完全に破綻していることを知っている故に情報の開示を必死にならして拒む銀行を公的資金で助けようとする政府の姿は、太平洋戦争末期に敗戦色の濃厚な大本営が戦報で国民を欺くのを支えた東条内閣を彷彿させる。学者、評論家等、世間では頭が良いと思われている人

種に限って簡単なことをわざと屁理屈を捏ねくりまわし、複雑に見せている。これはあらゆる分野の専門家と称

## 売国のすすめ

1998.9.11 会津日報

田村 昭夫(62)

する輩の常套手段と云ってよい。金融組織がとくに崩壊していることが誰の目にも明らかなのに善良

な借り手保護の為に公的資金を使って大銀行を救済するなど訳のわからないことを云うボケ大臣が居る。日本長期信用銀行など潰せば良い。潰れて得するのは借り手だから。破たんした日本は丸ごと国連に引き取ってもらい、愚か者の日本人達を労務者として世界市場に売り出せば、二十一世紀の奴隷産出国として、この国は今後とも繁栄するだろう。折しもの水害である。日本国民総動員で、国土の復旧作業にあたり、日本人の働きぶりを世界に宣伝する又とない機会である。

種に限って簡単なことをわざと屁理屈を捏ねくりまわし、複雑に見せている。これはあらゆる分野の専門家と称



「質草が高く売んにエから助けてくんつエ」と質屋のおやじが村長に泣きついた。人のいい村長は「質屋を助けんなんねべ」と集めた年貢から都合つけるそうだ。それを指くわえてポーンと見ている村びとたち。オラこんな村いやだ。外国サ出てベコ飼うだ。吉幾三でなくてもこんな気になる。愚者、地震、水害ばかりのつまらない日本村から逃げ出して、広い世界に出て、思いっきり自分の能力を発揮してみたい。こんな自分でも何か世界の人達に役立つことが出来るはずだ。例えば地雷の撤去作業など。日本村が気に入って離れる。

## 外国サいってベコ飼うべ

会津日報

会津若松市 田村 昭夫(62)

揮してみたい。こんな自分でも何か世界の人達に役立つことが出来るはずだ。例えば地雷の撤去作業など。日本村が気に入って離れる。

れない人には良い仕事がある。村中に散乱している廃品回収やゴミ分別をやってはどうか。コストが高くないかもかまわない。年金をもらって、食っちゃ寝している輩(やから)を只でこぎ使えば良い。彼等も生き甲斐を求めているはずだ。人間とは本来その様なものだと思う。自分がこの世に生きていることが何らかの意味で人に役立っているという自覚が生きる力を与えてくれる。自分は社会になにも貢献出来ない単なるお荷物であると悟った人はどうか砒素でも飲んで死んでもらいたい。人間は誇りを失ったらおしまいであ

Nur wer die Sehnsucht kennt,  
weib was ich leide

ゲーテの「ウィルヘルム・マイスターの修行時代」の中にある、ミニヨンが歌う短い詩の冒頭の一節である。

学生の頃、この言葉をしかめつらしく「唯、憧れを知る者のみ、わか悩み知らぬ」なんて訳して有り難がっていた。あとで、小娘ミニヨンが自分の故郷を懐かしんだだけの歌だと知って、がっかりした。何か深い、哲学的意味がある様に思っていたが、真相はたいしたものじゃない。

思い込みについて言えば、かつて、泰澄大師の開いた道、越前平泉寺を経ての白山山行を試みた折り、平泉寺の住職平泉澄氏に、古来の修験者の歩いた道の様子を尋ねたことがある。住

職は私の申し出にいたく心を動かされたらしく、親切に道を教えて下さった。そして曰く、「人の歩いた道と云うものは、千年たとうが、二千年たとうが、決して無くならないものです。」深く感銘してたどっていたら、道はやがて藪になってしまった。落語の「こんやく問答」ではないが、思い込みや考え過ぎは禁物である。

考えてみれば、異性、学校、職場、その他に対する失望は、自分勝手な思い込みにも責があるのであろう。思い込みが過ぎて失望する。それを繰り返すのが人生と云うものかもしれない。「思い込み」特集号など、「やまぎと」でもやってみては如何。



先日東邦銀行へいって年金を受けとってききました。銀行では下ラ旗き一個をおまけにくれました。子供じゃあるまいし、馬鹿にするにも程がありません。これから到来する世界大恐慌に備えて欧州統合通貨の「ユーロ」に換

金をおすすめいたします。円やドルを持っていても紙クズになるだけですよ。政府は公的資金六十兆円を銀行救済に使うそうですがおとなしい日本人はエライ人達が云うことだから間違いないと思ってるのでしようか。外国だったら暴動が起きて当然なのですが、おとなしい日本人向きにおだやかな抵抗方法として皆で仲良く納税拒否をしてみましよう。

東大出のエライ人達がイイ頭で考えたらしいメイヤ案が新聞に出ていました。が中学中途の私にはムカシくて

わかりません。読者の皆さんの中で、もしおわかりの方がいらっしやいましたら教えて下さい。お経と同じでわからないから同じがたいたので、わかったらいたしたことでないのかもしれないませんか。

（日経・十月十七日付）  
公的資金として六十兆円が用意された。従来の預金者保護のための十七兆円の特例業務勘定のほかに、二つの

する費用や、ブリッジバンク（つなぎ銀行）設立の出資金に充てる。健全な借り手に融資を継続したり、不良債権を時価で買い取る資金にもなる。

金融機能早期健全化勘定は二十五兆円。破たん前の金融機関に資本注入するため、普通株、優先株、劣後債などを購入する資金となる。これまでの十三兆円の金融危機管理勘定を衣替えしたものだ。

しかし逆の場合は損失が出る。資本注入した銀行が破たんしたり、融資が無げ付いたりする場合は、そのなれば税金で穴埋めする必要がある。

従来ある十七兆円の特例業務勘定は、破たん処理するときに債務超過分の穴埋めをして預金者を保護するのが目的。北海道拓殖銀行の破たんでは預金者保護のための資金援助だけで一兆七千九百億円

資本注入のための二十五兆円については全額投入し①主要九行の自己資本比率が一五％になり国際的な優良行の香港上海銀行と並ぶ②全金融機関のリスク資産が六百兆円なので自己資本比率が四％向上する——という。一時国有化などのため十八兆円を合わせた四十三兆円で一八十七兆円の問題債権の半分をカバーできる」としてはいる。

台風十号が各地に被害を与えた模様ですが景気の回復を願う国民大衆にとっては朗報です。なぜなら土建屋が崩壊してこの国を経済が活性化する仕組みになっているからです。誰の言葉か知りませんが、頭狂徒民と痴呆人の国なのです。この国は。

# 納税拒否のすすめ

田村 昭夫(62)

1998.10.23

勘定を預金保険機構に新設する。政府保証付まで日銀や民間金融機関から借り入れて調達するため直ちに国民負担になるわけではないが、一部は最終的に税金でまかなうことになる。

新設の金融再生勘定には十八兆円をあてて。金融機関が破たん寸前になったとき、特別公的管理（一時国有化）に移動するために政府が株式を強制取得

この二勘定については、金融再生委が資金を使うたびに厳格に審査し回収することが前提だ。①特別公的管理した銀行やブリッジバンクを他の金融機関に高く売却した②新規融資が予定通り返済以上に不良債権を回収した③買取り価格以上④資本注入した銀行から配当、利子収入が入り元本も返済された——という場合は収益が

かかる見込み。ほとんどが便さずで回収されない。まず金融機関が支払う預金保険料があるが、年間で約四千六百億円程度なので不足は公的資金を使う。七兆円の交付国債を取引し、国有財産の売却などで充当することになる。

六十兆円の公的資金枠は必要額を積み上げた数字ではないが、政府・自民党は七つの根拠を示している。①従

# トレッキングと地図

地図ニュースNo.287より転載 11期 ながおか まさとし 長岡 正利

## トレッキングとは

trekkingを辞書で引けば、原意は（アフリカ南部の）牛車旅行とある。それから派生して、徒歩での小旅行を言うものとなったようである。

最近、何かの事件をきっかけに、耳なれない言葉が一気に普遍性をもつことがある。このトレッキングも、昨秋のヒマラヤ山中での大量遭難を契機としてにわか世の注目を浴びた。念のためにこの事件を振り返れば、ベンガル湾を北上した季節はずれのサイクロンがネパール東部に豪雨を降らせ、標高の高い地ではそれが異常な量の積雪となって、もともとが傾斜地の山中では至る所で雪崩の発生を見たものである。エベレスト西方のゴーキョに至るルート途上（図3）の、数日前までは秋の日差しの中に砂塵が舞っていたような地点で、日本人13人を含む25人の死者が出、ヒマラヤ全域では60人以上もの死者があった。

さて、冒頭に述べたとおり、トレッキングは足だけをたよりに毎日山中を歩き続ける（時に馬なども利用）ものだが、何が人々をそれに誘うのか。

慌ただしく、しかも画一化された観光地めぐりの旅行に違和感をもつ人々のために、昔は個人旅行が当然であったヒマラヤ山間部の徒歩旅行が、20年位前から一部の小規模な専門旅行社の手で小団体旅行として企画され始めた。それが意外に集客力のあることが判って、近年は大手旅行社も取上げるようになっていく。

## ヨーロッパアルプス

言うまでもなく、古くから自然と調和させながらの観光開発が進められた地で、富士山より高い山頂にまでロープウェイが架けられ、かなりの高地にまで快適な滞在を楽しめるホテルが建てられている。また、岩を攀じてたどり着けるような山小屋の設備も、日本とは較べものにならない。

このような宿泊施設を次々と利用しての、軽装での山歩きが可能であり、コースの取り方によっては観光客の訪れない静かなアルプス散策を楽しむことができる。時間と体力の乏しい向きには、交通機関を利用しての慌ただしいアルプスめぐりも可能である。

これらの地域の5万分1程度の地図は、近年は日本国内でも充分に入手可能となった。当該国でも、都市で多少の時間があれば書店などでの地図探しが楽しめるほか、特にスイスでは昔から、観光地の小さな売店でもその周辺の美しい官製地図が容易に買求められる。

## ヒマラヤ・カラコルム

インドのスリナガルを中心とするカシミール地方など、政情不安の地域と国境地帯の大部分を除けば、近年は昔に較べて比較的容易に入域できるようになった。

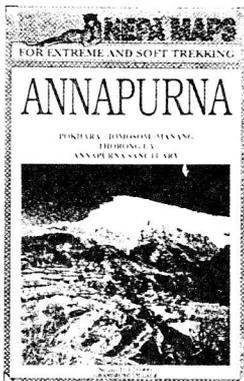
ネパールヒマラヤについては、日本国内においても専門旅行社に頼めば、1人からでも任意の山域へ、ガイド（シェルパ）やコック、ポーターを

ANNAPURNA



1: 100 000

epal-Kartenwerk der Arbeitsgemeinschaft  
vergleichende Hochgebirgsforschung Nr. 3



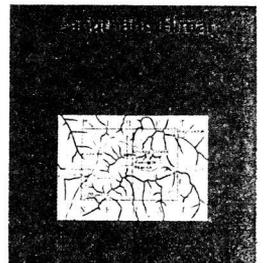
Helambu-Langtang  
Gosainkund



Trekking Map - Scale 1:100,000  
Trekking North of Kathmandu  
Helambu, Gosainkund  
The Langtang Valley and Ganja La



Alpenvereinskarte

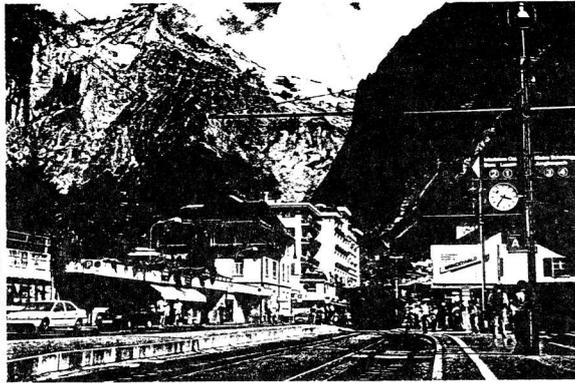


（トレッキング用の各種地図の表紙デザイン）

伴うトレッキングの手配が可能であり、テント宿泊の山歩きで日本語しか話せなくとも、身の回りのおずかなものだけを携えて出国しても、何とかなろう(山歩きの基本的体力は必要)。むしろ、専門旅行社の企画する小人数グループツアーに参加するのがはるかに便利ではある。

カラコルムでは、旅慣れた人以外には山間部での一人歩きはお勧めできない。辺境地への入域にはかなりの面倒も伴い、旅行社のツアーに参加するのが何かと便利である。インドヒマラヤは両者の中間くらいの便利さであろう。

ネパールヒマラヤではモンスーンの影響をまと



写真① スイス、鉄道はアイガー北壁直下からトンネルで山中を抜け、写真右端の氷河の山稜上のユングフラウヨッホ駅に達する(スイスの鉄道のパンフレット“ユングフラウヨッホ”より転載)

写真② 左写真の山麓、グリンデンヴァルトの風景、トレッカーや氷河の山々に向う登山者の姿が似つかわしい山間部の街の駅



図1 国による地図の違い。左は精緻な美しさで定評のあるスイス地図局の1:50000地図、右は登山道(青)や冬のスキーコース(赤)を判りやすく表現したフランスIGNの1:50000地図(現在この縮尺は廃刊)。ともに、左下のモンブランから左上のシャモニーの範囲を示す。

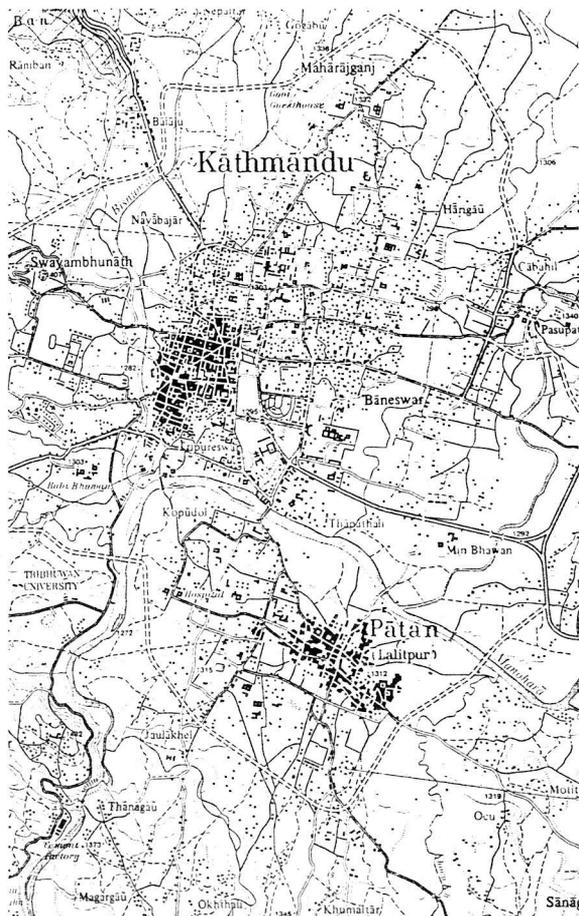


図2 カトマンズ市街、中世の面影をのこす街、赤が写真⑦の旧王宮 (1:50000、Kathmandu Valley、ミューンヘン Nelles、1977:55%に縮小)

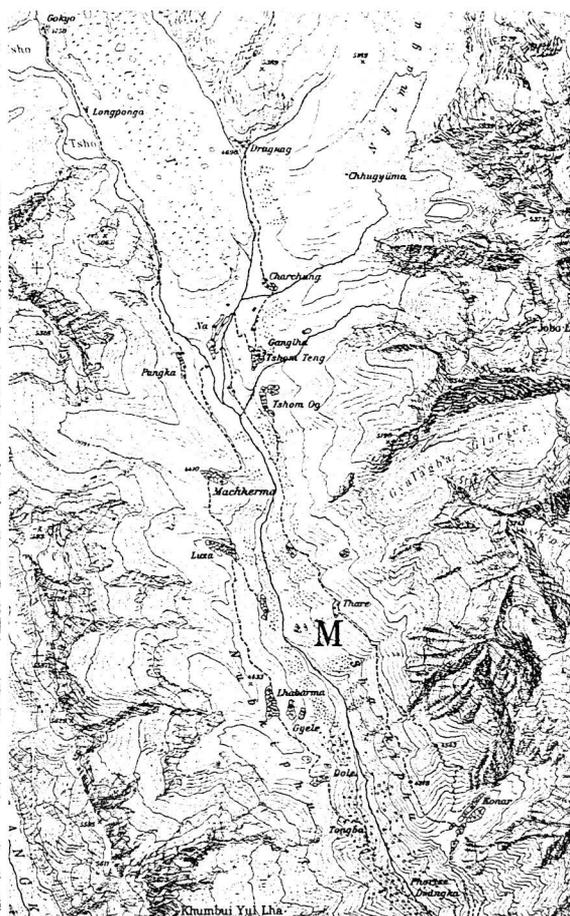


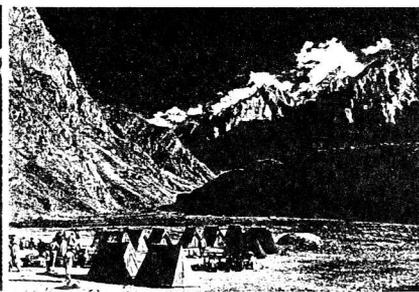
図3 ネパール山間部、昨秋の大量遭難(本文)は図左中央のパンガの村で起こった(Khumbu Himal、1978、ほかは同左:50%に縮小)



写真③ ネパール、アンナプルナ山麓の尾根上の村、最近車道が作られてはほぼ消滅した



写真④ 左写真の先で見た風景、山はアンナプルナ・サウス (7219m)。表紙写真と同じ山



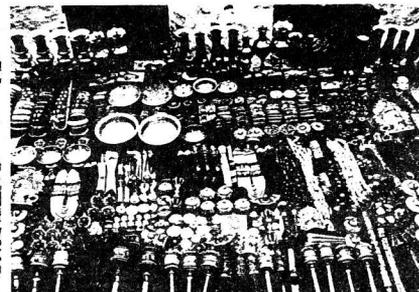
写真⑤ パキスタン・カラコルム、極度な乾燥地域、山はマッシュアブルム (7821m)



写真⑥ ネパールの農村風景、カトマンズ郊外から見たジュガル・ヒマールの山々



写真⑦ カトマンズ旧王宮前、祭りの日の賑わい



写真⑧ 楽しい土産物の数かず、古い仏具や装身具などが多い

もに受けるため、夏は山歩きに向かないのに対して、西のインドヒマラヤでは海から遠いこともあってそう問題はない。カラコルムはモンスーンの影響を殆ど受けず、むしろ山岳沙漠と言ってもよい環境下にある(写真⑤)。冬期については、ネパールでは亜熱帯に相当することもあって、日本の秋山のようなどかな山歩きを誰もが楽しむことができるが、ほかは、冬は凍てつく極寒の山岳地を経験したい方を除いて、行くのは止めたほうが良い。むろん、ツアーも出ない。山岳地の道路の殆どは閉鎖されるものの、昔を知る人間には信じられないことだが、空路でラダックのレーやカラコム中心地のスカルドに入ることはできる。

ところで最近、何れの地域でも山間部への道路延長が急速に進められ、時間の限られた人々にとっては大変有利となったほか、各地でヘリコプターの利用が進められ、ネパールではモンスーン影響下の地域を越えていきなり高山植物が咲き乱れる高地へ入ることができるまでになっている。昔、ヒマラヤ前縁の雨に煙る亜熱帯樹林帯を、無数の山蝨(表紙参照)に血を吸われるままに歩き続けたことが信じられないような時代となった。

ところで、この地域の地図としては、訪れる人や登山者の多い山域を中心に、スイスの<sup>(アルプス)</sup>山岳研究財団によるものを始め、ドイツ、オーストリア、フランスなどの団体や民間社会で作られたものが、前述と同様にわが国でも求めることができる。ほかに、20・30年位前には考えられなかったものだが、現地観光地の土産物屋には、上述のものを含めてネパールやインドなどの現地国の民間製のものなど、たくさんの多彩な地図(下図)が並ぶようになった由で、とにかく格安で多様な地図が入手できるのは嬉しい(中には著作権上問題があるのではと思われるものもあるらしい)。

## あとがき

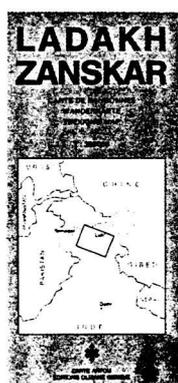
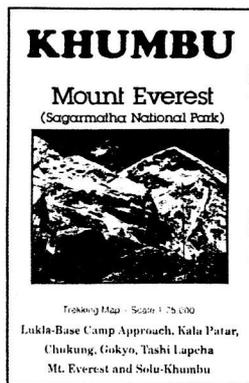
歩くことは素晴らしい。歩かなくては見えないものが見え、(我々からみれば)極限の自然の中で生きる人々の生活に触れることもできる。年配の人々にとっては、かつてのわが国ではどこでも見ることができたような、のどかな農村風景や日常の生活に、思わず子供時代を懐かしむこともあろう。

でも、本誌読者で旅行もままならないような忙しい方々のためには、地図を眺めながらの机上トレッキングのお勧めを。

トレッキングを手掛ける専門旅行社では、美しい無料パンフレットを用意しており(山関係の雑誌の広告欄連絡先により入手可能)、最近では自治体の図書館でも豪華な山岳写真集を揃えるようになってきている。それらを片手に、国内でも入手できる、あるいは現地にでかける友人に頼んで買ってきてもらった地図を広げて、ルートをなぞり、氷雪の山々の景観とヒマラヤやカラコルムの空の青さ、春なればしゃくなげの林の開花の見事さ、夏は氷河湖のほとりを彩るヒマラヤの青いけしやエーデルワイスなどの高山植物の中での憩いを空想する。これもまた、地図と旅の楽しみ。

以上、「なに人生はまだ長い、いずれそのうちまた行ける日はある」と、深夜・休日にかかわらず、原稿締切等に追われている本誌編集子が描いた、机上に地図を広げてのはかない夢であります。

【参考】 国内での関係地図の入手先を紹介します。  
 内 外 交 易 ㈱ 03-3400-2326、広域に渡る注文を対象  
 ㈱マップハウス 03-3295-1444、1枚の注文でも可  
 代表的なトレッキング専門会社としては、アルパインツアーサービス㈱(03-3503-1911) などがあり、世界の山々のトレッキング・ツアーが多く出されている。  
 (写真は①を除いて筆者によるが、⑦以外は昔のもの)



(トレッキング用の各種地図の表紙デザイン)